

平成30年度 佐賀県高等学校総合体育大会 ボクシング競技 実施要項

1. 期日・会場

(1) 総合健診計量・組合せ抽選	日 時	平成30年5月31日(木)	16時00分
	会 場	佐賀県総合運動場ボクシング場	
	住 所	佐賀県佐賀市日の出	
	電 話	0952-30-5311	
(2) 競 技	日 時	平成30年6月1日(金)～2日(土)	13時00分
		平成30年6月3日(日)	12時00分
	会 場	佐賀県総合運動場ボクシング場	
(3) 開 会 式	日 時	平成30年6月1日(金)	12時00分
	会 場	佐賀県総合運動場ボクシング場	
(4) 監督会議	日 時	平成30年5月31日(金)	17時00分
	会 場	佐賀県総合運動場ボクシング場	

2. 階 級

男子は、ピン級からミドル級までの8階級とする。

3. 競 技 規 則

- (1) 競技規則 (一社) 日本ボクシング連盟競技規則による。
- (2) 競技方法
 - ア) 個人戦とするが、学校対抗を兼ねる。
 - イ) 1試合3ラウンド(1ラウンド2分)
 - ウ) トーナメント方式で行い、優勝・準優勝・3位を決定する。
- (3) 得点規定
 - ア) 原則として、抽選の不戦勝を除いて、1勝ごとに勝ち点1を与える。
 - イ) 優勝には5点・準優勝には3点・3位には1点を与える。
- (4) 学校対抗順位決定方法
 - ア) 個人得点の合計点で決定する。
 - イ) 同点の場合は、優勝者の数による。
 - ウ) ア)・イ) でも同点の場合は、準優勝者の数による。
 - エ) ア)・イ)・ウ) でも同点の場合は、3位の数による。
 - オ) ア)・イ)・ウ)・エ) でも同点の場合は、同位とする。

4. 組み合わせ

総合健診計量後、佐賀県高体連ボクシング専門部専門委員にて抽選を行う。

5. 引率・監督

引率責任者は当該校の職員、また当該校校長の認める学校の職員とする。

6. 参加資格

- (1) 選手は佐賀県高体連に所属している生徒で、本競技実施要項により、参加資格を満たしている者に限る。
- (2) (一社)日本ボクシング連盟に登録後8ヶ月経過し指導者が出場可能と認めた生徒であること。また、登録後8ヶ月未満であっても、中学時代を含め練習期間が1年以上経過しているものについては、従来の手続きで出場できる。
- (3) 平成11年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場回数は同一競技3回までとし、同一学年の出場回数は1回限りとする。
- (4) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。
- (6) 転向後6ヶ月未満の者は、参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、所属高体連会長の許可があれば、この限りではない。
- (7) 選手は、本年度の総合健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。総合健診については選手手帳の本年度分「健康診断記録」に必要事項が記載され、医師の著名捺印がされていること。なお、一般診療以外に受診しなければならない総合健診の内容は以下のとおり。
 - ①血液、尿検査は年一回実施していること。
 - ②心電図、レントゲンは以下の節目に実施していること。ボクシング開始時、中学・高校の各入学時
 - ③CT スキャン (またはMRI) の実施済みの証明書で頭蓋内病変、及びボクシング競技に支障のない、くも膜のう胞のない証明を受けていること。
(2014年度版選手手帳に明記、または証明書添付していること。)
- (8) 選手は、選手手帳を携帯すること。不携帯や記載等に不備がある場合は出場させない。
(表紙に写真を貼る。新規手帳の場合は前の手帳も合わせて携帯する。)
途中で記入欄がなくなった場合は失格となる。
- (9) 参加資格の特例による学校の参加については、佐賀県高等学校体育大会開催基準要項のとおりとする。
- (10) 参加選手は (一社)日本ボクシング連盟へ平成30年度の登録済みであること。

7. 参加人員

男子は、1校につき各階級3名以内とする。

8. 参加申込

- (1) 申込締切日 平成30年5月8日(火)正午
- (2) 申込先 〒840-0016 佐賀市南佐賀三丁目11番15号
佐賀県高等学校体育連盟事務局
- (3) 申込方法 所定の参加申込書により3部作成(1部学校控え)し、佐賀県高体連事務局へ提出する。

※個人情報に関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

9. 表彰

団体 3位まで 個人 3位まで

10. 備考

- 組合せ抽選を行う際、第1シード・第2シード選手を設ける。
- 各階級の1位の選手がインターハイの出場権を獲得する。1階級のエントリーが8名を超えた場合は、予選会を行う。
- ヘッドガードはAIBA及び日連の検定品で、競技者所有のヘッドガードの使用を認める。なお、競技者はコーナーカラー（赤・青）のものを着用しなければならない。グローブは大会本部で用意する。カッププロテクター等はチームまたは各自で持参すること。ハイカットタイプは禁ずる。
- ユニホームはコーナーカラー（赤・青）のものを着用する。ベルトラインは6cm～10cm幅の白色で明確に色別されていること。
- 赤色または赤系統の色が含まれるガムシールドの使用は禁ずる。
- 計量は、パンツ（スパッツは認めない）以外は裸で行い、選手が希望すれば、全裸で計量器に乗ることができる。（ただし、計量は1回のみとする。）
- 視力は、0.1を超えなければならない。ただし、ソフトコンタクトレンズを使用しての矯正視力は両眼とも0.4以上なければならない。（着用者は、必ず点呼時に届け出しなければならない。）
- ①毛髪等について
 - 「一般社団法人日本ボクシング連盟医事ハンドブック第5章 毛髪」を厳守すること。
 - ア. 頭髪：長さは眉、耳たぶ、首筋を超えてはならない。額にかかった長髪は視界を妨げるばかりではなく、眼球を傷つけることがある。
 - イ. あご髭：クリンチや衝突で相手の眼球を傷つけ、危険をもたらすとして禁止されている。同様に口ひげや無精ひげも認められない。
- ②刺青については「一般社団法人 日本ボクシング連盟医事ハンドブック第5章 刺青」を厳守すること。刺青に関しては、その大小、場所を問わず、またシールによるものであっても出場における資格を失う。
- 健診時には事前に配布する「健康申告書」に必要事項を記入し、提出すること。
- 競技中の疾病、負傷の応急処置は主催者側で行うが、以降の責任は問わない。
- 大会に参加する選手は必ず引率責任者によって引率されるものとし、その引率責任者は選手のすべての行動に対し責任を負うものとする。

11 問合せ先

〒849-2101 佐賀県杵島郡大町町大町2039 佐賀県立杵島商業高等学校
佐賀県高等学校体育連盟 ボクシング専門部 専門委員長 森田 隆宏
電話：0952-82-3241 Fax：0952-71-3008